

5分で読める!
理解する!
あらすじで学ぶ
家づくり

VOL.
37
Resilience

末長く安心・安全な住まい

レジリエンス住宅の チェックポイント



全国的にも自然災害が少ないとと言われていた岡山県ですが、平成30年7月豪雨災害は、未曾有の大災害となりました。気候変動等による自然災害は、どこにでも起こりうるということをあらためて思い知らされました。

これからは平常時を快適に過ごせる住まいは当然として、災害時のリスクや必要な対策も予め考慮し、家族や生活を守れる住まいづくりが重要です。

住まいの 「レジリエンス」とは…?

聞き慣れない言葉ですが、最近よく耳にするレジリエンス住宅とは何のことでしょうか。もともとレジリエンスとは「回復力、復元力、強靭さ」という意味で、これからの「住宅」にレジリエンスは必須の項目になっています。今、あなたの住まいは、日常的に快適に過ごせて、さらに災害が起った時には命や生活を守ってくれる、安全で安心な住まいでしょうか。

これからの住まいに取り入れたい「レジリエンス住宅」とは、日常生活は安全で健康的にエネルギー使用量を抑えながら暮らせ、そして万が一の災害時には自主的にエネルギーを供給し、ご家族が受ける被害を最小限に留め、素早く日常生活を回復できるようにする住まいのことです。

「レジリエンス住宅」を 考える…!

住まいのレジリエンスを高めるためには、日常の健康リスクや災害のリスクを知り、必要な対策を考え、あらかじめ備えておくことが大切です。実際にどの程度の対策が必要かについては、家族の状況や地域の災害の可能性によって異なります。

右のチェックリストで、住まいにはどのような健康リスクや災害リスクがあるのか、どのような備えが必要かをピックアップしました。住まいづくりをスタートする時、リスクをなるべく回避し必要な備えに取り組むための参考にしてください。

レジリエンス住宅 チェックリスト

平常時、災害発生時、災害後の3項目にわけたチェックリストです。
ご家族の安全安心を考慮した住まいづくりにお役立てください。

平常時

Q1	夏の暑い時、リビングや寝室を涼しくできていますか？	
Q2	冬の寒い日、お風呂などでのヒートショック対策はできていますか？	
Q3	バリアフリー仕様になっていますか？	
Q4	断熱仕様の過ごしやすい住まいになっていますか？	
Q5	子どもの安全に配慮した子ども目線の家になっていますか？	
Q6	太陽光発電、ZEH等、省エネ、創エネ対策はできていますか？	

災害発生時

Q7	耐震基準をクリアしたお住まいですか？	
Q8	複数回の地震にも耐えられる構造ですか？	
Q9	地震の際、窓のはずれや家具の転倒等に配慮していますか？	
Q10	液状化が起っても傾きにくい基礎構造ですか？	
Q11	強い勢力の台風が来ても耐えられる耐風性能はありますか？	
Q12	大雨が発生したときの雨漏り、 降り込み等、耐水性能は大丈夫ですか？	
Q13	自宅の防火対策はされていますか？	
Q14	隣家の火事等に対する、延焼対策はできていますか？	
Q15	災害発生時にすぐ使える防災用品を保管していますか？	

災害後

Q16	停電時にも使用できる電源は確保していますか？	
Q17	災害時でも情報を確保できる設備は備えていますか？	
Q18	断水時でも数日間耐えられる生活用水はありますか？	
Q19	食料や飲料水の備蓄は充分ですか？	
Q20	高齢者や乳幼児のための災害対策はできていますか？	



ママとパパとワタシにやさしい展示場。
山陽新聞岡山住宅展示場

詳しくは、経験豊富な
住宅メーカーに相談しよう！